

東亞合成株式会社
広野工場 概要

広野工場データ

工場敷地

約 37,000m²

建物延べ床面積

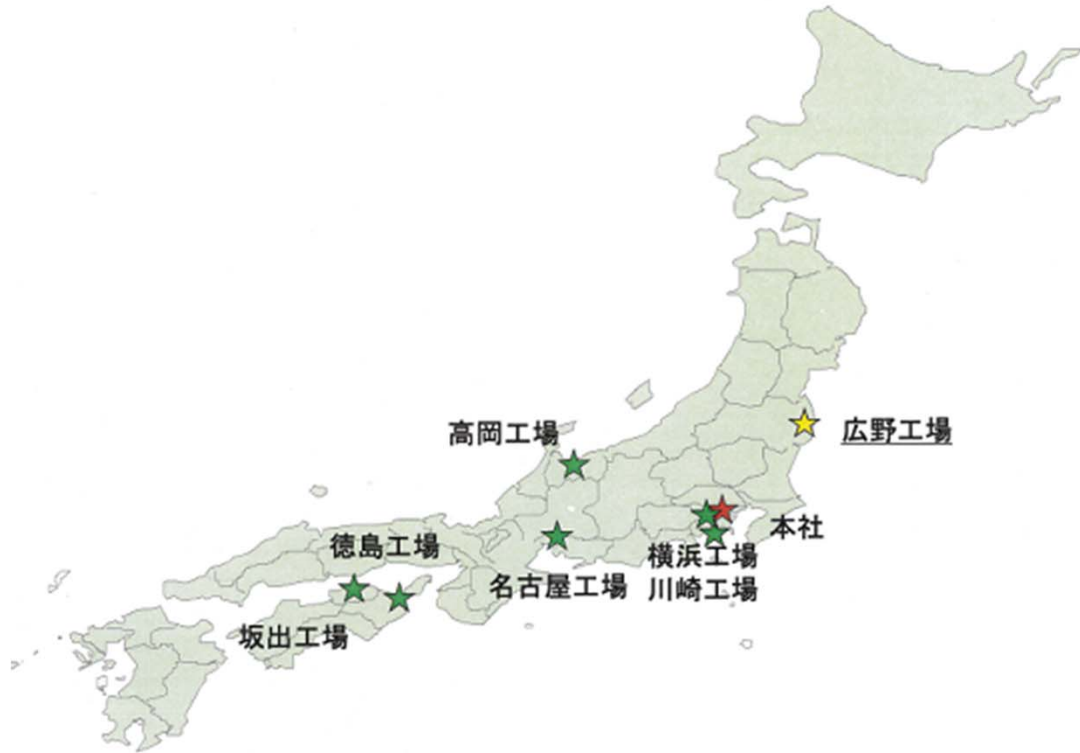
約 6,500m²

従業員数(2016年6月現在)

約 60名



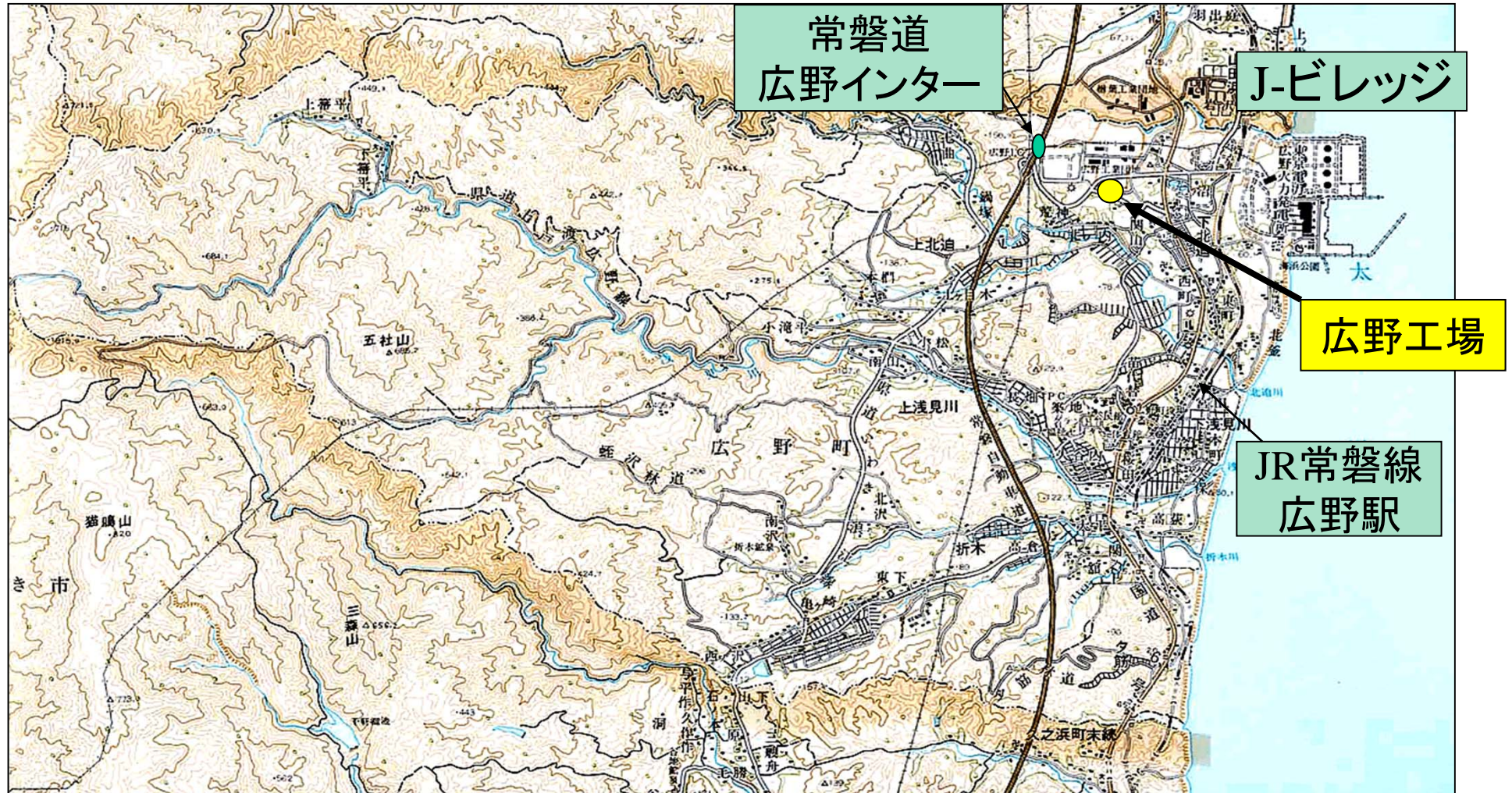
広野工場の位置



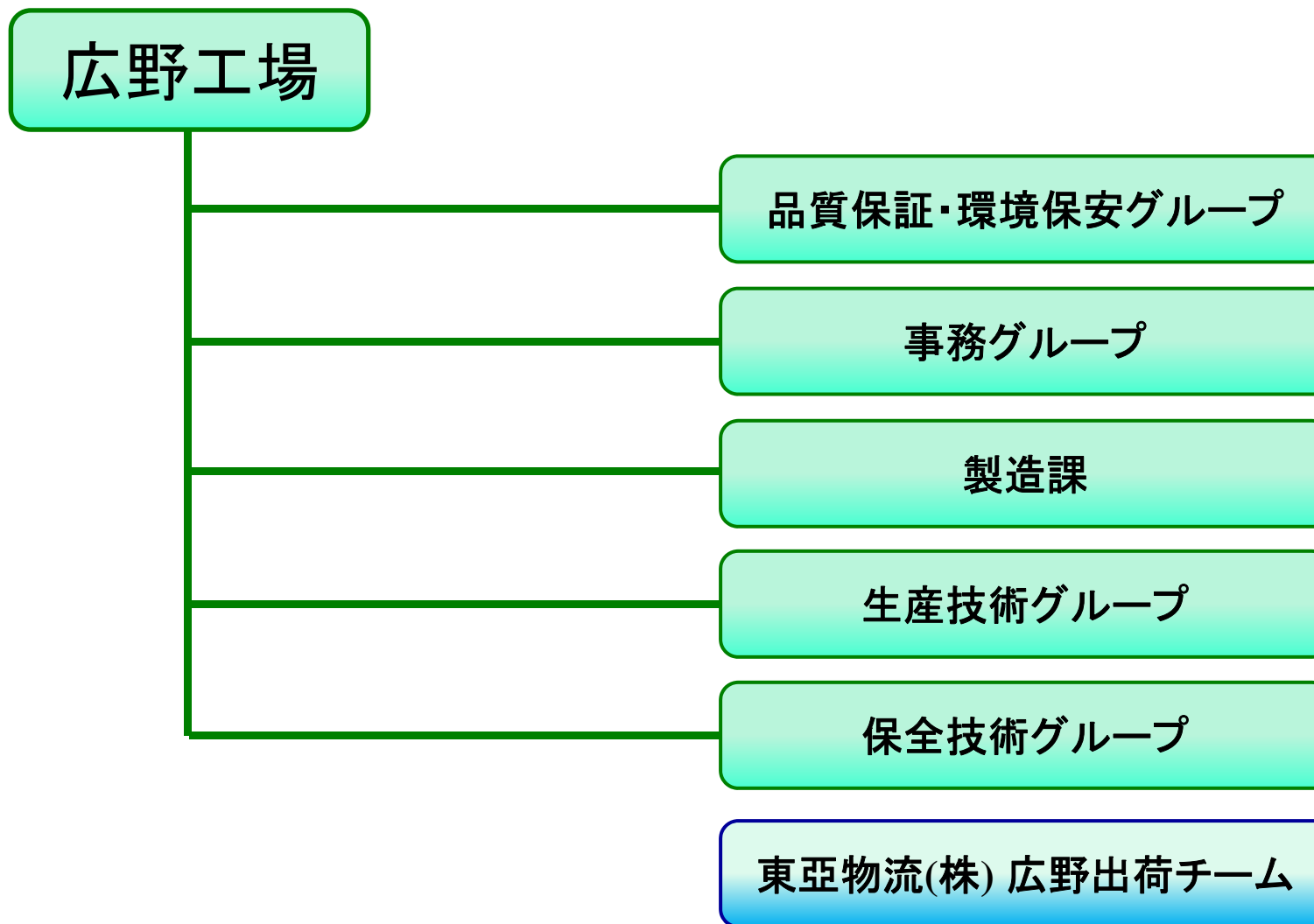
福島県双葉郡広野町



広野町



広野工場 組織図



広野工場の沿革

- 1944年10月 日本純薬株式会社設立。分析用試薬、高純度薬品製造販売。
- 1954年 6月 東亞合成化学工業(株)の系列会社となる
- 1957年 8月 鶴見工場を建設
- 1961年12月 本社社屋完成(日本橋)
- 1999年 7月 広野工場新設
- 2002年 9月 ISO9001全社マルチサイト認証取得(JQA)
- 2005年 1月 鶴見工場設備を広野工場へ集約、鶴見工場閉鎖
- 2006年 9月 ISO14001全社マルチサイトにて 認証取得(JQA)
- 2007年 8月 広野工場 医薬品添加剤GMP認証取得
- 2008年 3月 本社移転(新橋 東亞合成ビル内)
- 2009年 1月 営業部門・業務部門を東亞合成に統合、生産子会社となる
ISO組織は東亞合成の1サイトとなる(JCQA)
- 2011年 3月 東日本大震災により被災、7月より操業再開
- 2013年 1月 東亞合成(株)と合併、東亞合成(株)広野工場となる

広野工場の主な製品

●ポリアクリル酸を中心としたアクリル系ポリマー

1. 医薬品・医薬部外品原料
増粘剤、ゲル化剤、粘着付与剤
2. 化粧品原料
増粘剤、ゲル化剤、滑剤、懸濁化剤、バインダー
3. トイレタリー製品原料
分散剤、増粘剤、懸濁化剤
4. 機能性高分子製品
粘着剤、塗料基材、コーティング材

広野工場製品の用途例

皮膜形成剤 ジュリマーATシリーズETシリーズ

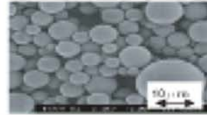


耐水性の高い皮膜が形成可能

- アイライナー、
- アイシャドウ、
- マスカラ等用の皮膜形成剤

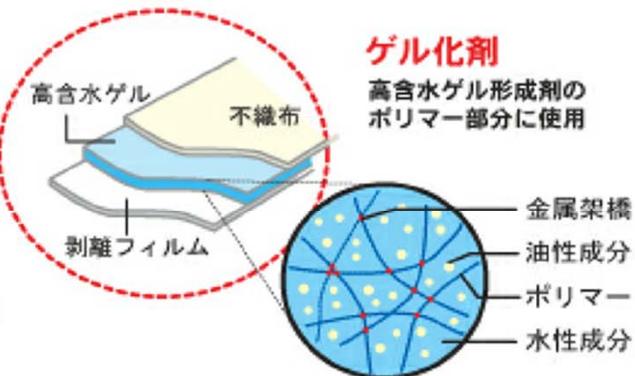
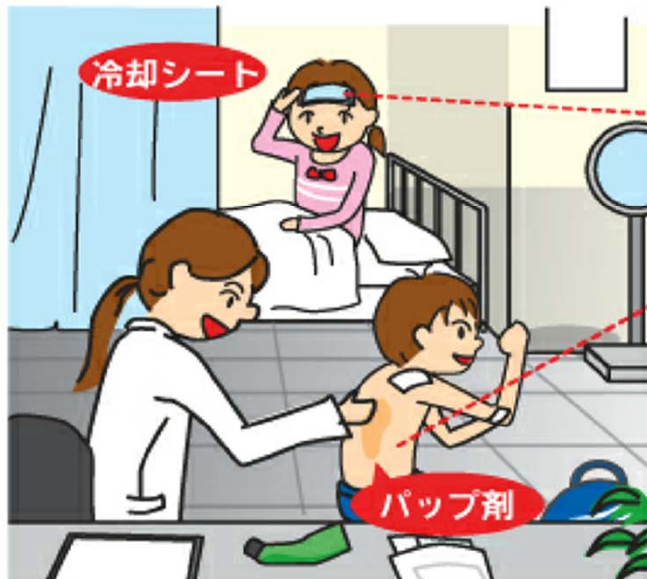
充填剤・滑剤 ジュリマーNBシリーズ

完全球状超微粒子。無色、透明、サラサラした感触を付与することができる。



増粘剤 アロンビス、ジュリマー、レोजック、ジュンロン

乳液、クリーム、ローション等の化粧品をさまざまな粘度に調整可能



ゲル化剤

高含水ゲル形成剤のポリマー部分に使用

- アロンビス：基材（粘着剤、保水剤）
 - ジュリマー：粘着増強剤
 - ジュンロン：賦形剤（不織布の裏抜け防止用）
 - レोजック：賦形剤（不織布の裏抜け防止用）
- 上記製品に架橋剤、保湿剤、薬効成分等をブレンドすると水含水ゲルとなります。
（配合例は技術資料参照）